

## 会 議 事 録

1 会議名	第1回長岡市文化財保護審議会
2 開催日時	令和4年8月19日（金曜日）
3 開催場所	さいわいプラザ4階 教育委員会会議室
4 出席者名	審議会委員 平山委員、三富委員、飯島委員、田中委員、鳴海委員 長谷川委員、深澤委員、羽鳥委員 委員以外の出席者 安達教育部長 （事務局＝科学博物館） 神保館長補佐、鳥居係長、丸山主査、 加藤主査、山賀主査、田中学芸員
5 欠席者名	西田委員、星野委員
6 議題	（1）正副委員長の互選について （2）「長岡市文化財保存活用地域計画」について （3）その他
7 審議結果の概要	（1）正副委員長の互選について 委員長 平山委員、副委員長 三富委員 （2）「長岡市文化財保存活用地域計画」について（資料No.1） 概要を事務局より報告
8 審議の内容	

	<p>(1) 正副委員長の互選について 委員長に平山育男委員、副委員長に三富良晴委員が選出された。</p>
委員	<p>(2) 「長岡市文化財保存活用地域計画」について (資料No.1) 計画の策定に向けた作業の中で、今年度はコンサルタントに業務委託しているとのことだが、委託内容はどのようなものか。</p>
事務局	<p>文化財に詳しい業者を選定し、全体の工程、協議会の委員の選定、市民の意見の集約の方法などを検討・提案をしてもらっている。</p>
委員	<p>県内の他市町村は何がメインテーマになっているか。 現在新発田市、十日町市、糸魚川市で計画策定の作業が進められていて公表されていないが、新発田市は新発田城、十日町市は雪と縄文、糸魚川市はヒスイ、縄文、フォッサマグナがメインテーマなってくると想定される。</p>
事務局	<p>メインテーマは1つになるのか。 現在のところ、長岡市は海から山まで広いので、1つに絞る考えはない。</p>
委員	<p>コンサルタントが提案してくるものが、他の市町村と似通ったものになる可能性がある。よくコンサルタントと協議しながら長岡の特徴が出るようなテーマを設定してほしい。</p>
委員	<p>地域住民の声が反映されるような仕組みを考えてほしい。計画が地域住民に協力してもらえるような内容になることを望む。</p>
委員	<p>文化財の周知・継承にデジタルを活用して、子供も含めて楽しみながら文化財に触れていけるようなものを考えたらいいい。</p>
委員 事務局	<p>令和5年度以降の協議会とコンサルタントの役割分担はどうなるか。 協議会は専門家、観光部局、都市計画部局などで構成され、計画の内容を議論する。その下にワーキンググループを想定している。 コンサルタントは、議論の資料となるデータの収集や整理などの補助業務をやってもらうことになる。 コンサルタントが計画を作ってそれを協議会で承認するというような形ではない。</p>

委員	所蔵者自身が文化財だと認識していないことが多い。そのため未指定だと売買を含む移動がある。「文化財群」を構成する文化財のひとつとなった場合、どのような取扱いになるのか。
委員	所蔵者に計画の主旨等を説明して、地域で保存活用していくことを理解してもらう必要がある。
委員	未指定文化財をどのように把握していくのか大きな課題である。
委員	どの市町村も合併して広がっているので、どのような形で他の地域が計画されているのか先進事例を参考にして、長岡市の計画を作ってほしい。
委員	<p>合併で大きく長岡市となっているが、もともとの地域的なつながりがあるのでそれも考慮にいれてテーマを考えてもよいと思う。</p> <p>審議終了後に、科学博物館で開催中の特別展「世界昆虫探険記―自然絵本作家・松岡達英の昆虫採集―」を視察</p>
9 会議資料	別添のとおり